

斎賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 斎賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

[<< 静脈血栓塞栓症の弾性ストッキングの効果](#) | [TOP](#) | [新型コロナの5類変更について](#) >>

2023年04月25日

<< 2024年01月 >>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

最近の記事

(01/24)[HPVワクチン](#)
(01/24)[医療ネットから](#)
(01/22)[デバケン・胎児への影響](#)
(01/20)[ランニングは暑い時より寒い時の方が良い](#)
(01/19)[無症候性心房細動におけるエリキュースの効果](#)

最近のコメント

[鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用](#)
by (09/13)
[23価肺炎球菌ワクチンの局所反応](#)
by (07/11)
[急性心不全のラシックスの効果減弱](#)
by (06/10)
[小児の腸重積・ロタウイルスワクチンとの関係について](#) by (05/02)
[Ⅱ型糖尿病患者にスルホニル尿素薬の有効性について](#) by (04/19)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(256)
[循環器](#)(287)
[消化器・P P I](#)(164)
[感染症・衛生](#)(319)
[糖尿病](#)(146)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(117)
[インフルエンザ](#)(113)
[肝臓・肝炎](#)(66)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(54)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(60)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(41)
[ワクチン](#)(96)
[癌関係](#)(14)

COPDガイドライン・2023

COPDガイドライン・2023

Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease 2023 Report:
GOLD Executive Summary



新しいガイドラインは若干の変更がありました。

- ・診断基準は呼吸器症状、気道および肺泡の組織変化、呼吸機能検査としての一秒量と一秒率の3点から判断します。
- ・COPDをACOPD、BCOPD、ECOPDの3群に分けています。
Eの意味は exacerbation（急性増悪）のEです。
ECOPDは14日以内に増悪する呼吸苦、咳嗽と喀痰です。
気道感染、大気汚染、その他気道の障害が原因です。その重症度は、呼吸苦の程度、呼吸数、心拍数、サチュレーションにより決定します。
- ・繰り返す急性増悪の場合は、CT検査を推奨しています。

個人的に注目した文献の細部を記載しますと

- 1) 雑誌NEJMの論文を以前の私のブログでも紹介しましたが、呼吸機能の発達のピークは若い時で、その後は早い時期から退行していきます。
- 2) COPDの原因として感染症も重要ですが、その中でも緑膿菌が注目されています。
- 3) COPDに新しい概念
Early COPD、mild COPD、young COPD、Pre-COPD、PRISm等がありますが、未だ明白な定義と病態は解明されておらず、今後の研究が待たれます。
PRISmに関しては下記のPDFをご参照ください。
- 4) 胸部レントゲンでは診断に限界があります。
 - ・横隔膜の平坦化、透過性の亢進、血管影のtapering
 - ・寧ろ他の疾患との鑑別に有用です。
CTを推奨しています。
- 5) 吸入療法が主体ですので、前もってデバイスの教育を十分にしておく事が大事です。
患者の好みや適応力にも関係してきます。
- 6) どの吸入を用いるかは、下記の図表を参考にして下さい。

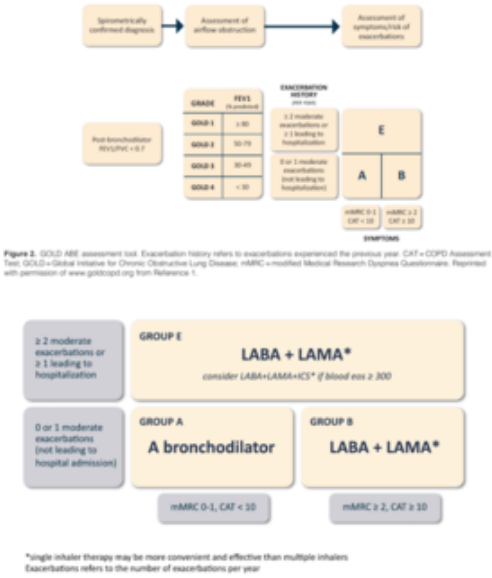
脂質異常(31)
甲状腺・内分泌(22)
婦人科(14)
泌尿器・腎臓・前立腺(52)
熱中症(7)
日記(27)
その他(93)

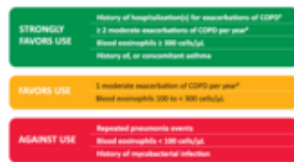
過去ログ

2024年01月(17)
2023年12月(17)
2023年11月(13)
2023年10月(15)
2023年09月(12)
2023年08月(16)
2023年07月(15)
2023年06月(14)
2023年05月(15)
2023年04月(15)
2023年03月(15)
2023年02月(14)
2023年01月(15)
2022年12月(12)
2022年11月(16)
2022年10月(15)
2022年09月(13)
2022年08月(17)
2022年07月(13)
2022年06月(15)
2022年05月(15)
2022年04月(14)
2022年03月(15)
2022年02月(14)
2022年01月(16)
2021年12月(14)
2021年11月(17)
2021年10月(17)
2021年09月(13)
2021年08月(16)
2021年07月(12)
2021年06月(16)
2021年05月(16)
2021年04月(14)
2021年03月(18)
2021年02月(19)
2021年01月(16)
2020年12月(17)
2020年11月(15)
2020年10月(17)
2020年09月(19)
2020年08月(14)
2020年07月(17)
2020年06月(14)
2020年05月(21)
2020年04月(18)
2020年03月(18)
2020年02月(18)
2020年01月(19)
2019年12月(14)
以降はカテゴリーで検索してください。

要点を纏めますと

- ・ 初期治療はLAMAかLABA
 - ・ 次のステップはLAMA+LABA
 - ・ 次は好酸球を参考にして、吸入ステロイド（ICS）を加える。
好酸球の基準にはグラデーションがあり、吸入ステロイドが有効の時もあり、
好酸球の数だけで決めるのは絶対的ではない。
LABA+ICSの長期使用はあまり勧めない。寧ろ好酸球が多ければ、
LABA+LABA+ICSの導入が基本。
 - ・ LAMA+LABA+ICSの効果が認められない場合や好酸球が増多していない場合は、
経口薬のroflumilast（日本では上市されていないようです）を処方。
喫煙者でない場合はジスロマックを処方。
- 7) COPDは慢性気管支炎の合併が27～35%存在します。
- 8) ECOPDは結局のところ、臨床家の事後評価です。
初期治療ではSABAもしくはSAMAを使用する。
- 9) 経口ステロイドも有効で、40mgを5日間が基本です。
好酸球増多がない場合は、効果が乏しいようです。
- 1 0) 抗生剤はアモキシリン+クラバモックス。
時にマクロライド、キノロン系を使用します。
- 1 1) 心血管疾患で選択制のβ1-ブロッカーの適応があれば、COPDが合併している場合に
使用してもよい。





Adapted from & reproduced with permission of the E-ONE 2019 European Registry Journal 12 (3) 180-178, DOI: 10.1083/1000000-0000-0000-0000, 13 December 2018



Figure 8. Classification of the severity of COPD exacerbations. ABG should show new-onset/worsening hypercapnia or acidosis, as a few patients may have chronic hypercapnia. Adapted from Reference 130. COPD=chronic obstructive pulmonary disease; ECOPO=chronic obstructive pulmonary disease exacerbation. Reprinted with permission of www.goldcopd.org from Reference 1.

本ガイドラインから、本院が参考になった点は

- PRISm 呼吸器内科医.pdf

0

0

いいね！

ポスト

ブックマーク

【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

[運動のやり過ぎに注意・呼吸器感染症](#)

[シイタケ皮膚炎](#)

[鎮咳薬・抗生剤の供給不足](#)

[市中肺炎・NEJMの総説](#)

[60歳以上のRSウイルスのワクチン](#)

posted by 斎賀一 at 12:38 | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

